

430-431, 1986.

- 4) 横澤隆子, 大浦彦吉, 三瀧忠道, 寺澤捷年: 大黃並びに大黃含有漢方方剤による慢性腎不全の治療経験—尿中排泄成分について. 日腎誌, **29**, 213, 1987.
- 5) 寺澤捷年: 東洋医学における`気`の概念と呼吸器疾患. 呼吸器心身症研究会会誌, **3**, 50-53, 1987.
- 6) 寺澤捷年, 竹内徳雄: 小児科領域において使用される漢方薬. 小児医学, **20**, 146-165, 1987.
- 7) 関 太輔, 斉藤明宏, 諸橋正昭, 柴原直利, 寺澤捷年: Weber-Christian 病. 皮膚科診療, **9**, 24-28, 1987.
- 8) 横澤隆子, 三瀧忠道, 大浦彦吉, 寺澤捷年: 漢方薬—中国産大黃の治療経験. 臨牀透析, **3**, 1146-1151, 1987.
- 9) 寺澤捷年: 脳血管障害の漢方治療概論. 現代東洋医学, **8**(3), 11-15, 1987.
- 10) 寺澤捷年: 運動器・神経疾患と漢方. からの科学(臨時増刊)新版東洋の医学, 64-67, 1987.
- 11) 寺澤捷年: 和漢診療の実際13. 太陰病の治療について. 看護学雑誌, **51**, 70-73, 1987.
- 12) 寺澤捷年: 和漢診療の実際14. 少陰病と厥陰病の治療について. 看護学雑誌, **51**, 174-177, 1987.
- 13) 寺澤捷年: 和漢診療の実際15. 診察法の実際 [1]望診について. 看護学雑誌, **51**, 282-285, 1987.
- 14) 寺澤捷年: 和漢診療の実際16. 診察法の実際 [2]問診と切診(脈診)について. 看護学雑誌, **51**, 388-391, 1987.
- 15) 寺澤捷年: 和漢診療の実際17. 診察法の実際 [3]腹診について. 看護学雑誌, **51**, 492-485, 1987.
- 16) 寺澤捷年: 和漢診療の実際18. 証について. 看護学雑誌, **51**, 592-595, 1987.
- 17) 寺澤捷年: 漢方治療の適応について. JAMA <日本語版> **8**(2)別冊, 12, 1987.
- 18) 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年: 当帰および当帰含有製剤の血液性状に対する作用. Therapeutic Research, **6**, 664-670, 1987.
- 19) 寺澤捷年, 今田屋章: 慢性関節リウマチの易感染性と漢方療法の役割. Medical Tribune, 4月9日版, 18, 1987.
- 20) 寺澤捷年: 「漢方臨床ノート・論考篇」の教えるもの. 日本東洋医学雑誌, **37**, 221-222, 1987.
- 21) 寺澤捷年: 瘀血(おけつ)の概念について. 富山県産婦人科医会報, **112**, 6-7, 1987.
- 22) 寺澤捷年: 中枢性血管障害に対する桂枝茯苓丸の応用. 和漢薬・バイオテクノロジー研究発表会講演要旨集, 2-5, 1987.

## 検 査 部

教 授 櫻 川 信 男  
助 教 授 小 熊 豊  
助 手 近 藤 信 一

### ◆ 著 者

- 1) Sakuragawa N.: Studies on Kampoh Drugs (Traditional Herbal Drugs) from the viewpoint of Blood coagulation, In Thrombosis and Hemorrhagic Diseases. by Ultin O.N. and Vinazzar Ha. (Ed), 319-325, Gozlem Matbaaclk koll. Sti, Istanbul, 1986.
- 2) 櫻川信男: 出血時間. 「正常値と異常値の間」日野原重明他編, 126-131, 中外医学社, 1986.
- 3) 櫻川信男: 血液凝固因子. 「動物成分利用集成」奥山隆編, 141-165, R&D プランニング, 1987.
- 4) 櫻川信男: 凝固制御要因とグリコサミノグリカンズ. 「立山シンポジウム, IV, 凝固・線溶血小板研究—基礎と臨床」櫻川信男他編, 134-144, 八木書店, 1987.
- 5) 櫻川信男: プラスミノゲン,  $\beta$ -トロンボグロブリン. 「今日の検査指針」河合 忠他編, 570-571, 医学書院, 1987.

### ◆ 原 書

- 1) 櫻川信男, 丹羽知登世他: 合成抗トロンピン剤 (MD-805) とヘパリンの抗凝固性. 最新医学, **41**: 2870-2875, 1986.
- 2) Yamagishi R., Sakuragawa N. et al: Thrombin inhibitory activity of heparin cofactor II depends on the molecular weight and sulfate amount of dextran sulfate; Thromb. Res. **44**: 347-354, 1986.
- 3) 奥田忠行, 小西 徹, 櫻川信男他: 携帯用長時間脳波記録装置 Ambulatory EEG System (Medidata M-300) の特性に関する検討. 臨床病理, **34**: 1452-1456, 1986.
- 4) 櫻川信男, 近藤信一他: 脳血管障害における凝固線溶能と粗害因子の変動. 最新医学, **42**: 140-150, 1987.
- 5) 櫻川信男: 凝固制御機構異常とその調節因子. 日本内科学会雑誌, **76**: 8-13, 1987.
- 6) Sakuragawa N., Kondo K. et al: Absorbability of factor VIII or IX concentrates preparation using beagles; ACTA MED. BIOL. **34**: 77-83, 1986.
- 7) 櫻川信男, 鈴木茂治他: トロンピンの性状に関する研究. 最新医学, **42**: 615-623, 1987.
- 8) 櫻川信男, 霜鳥智也他: ウリナスタチンの凝血

- 系に及ぼす影響. 最新医学, 42:820-830, 1987.
- 9) 佐藤伸二, 櫻川信男他: トロンボスポンジンによるゲル状過血小板の凝集. 血液と脈管, 18:70-72, 1987.
  - 10) Sakuragawa N.: Blood coagulation and its moleculon system; Jap. J. Med. 26:99-101, 1987.
  - 11) 丹羽正弘, 井上エウニセ明美, 櫻川信男他: テストチームFDPキットの基礎的, 臨床的検討. 最新医学, 42:1028-1032, 1987.
  - 12) 奥田忠行, 数川 悟, 櫻川信男他: 携帯用長時間脳波記録装置 Ambulatory EEG (Medidata M-300) のアーチファクトの検診. 臨床病理, 35:818-822, 1987.
  - 13) Sakuragawa N., Kondo S. et al: Antithrombin III microheterogeneity in antithrombin III deficiency and in the antithrombin III Abnormality "Antithrombin III Toyama"; Thromb. Res. 47:147-154, 1987.
  - 14) 高橋 薫, 丹羽正弘, 櫻川信男他: Heparin とその関連蛋白による血液凝固の制御, 臨床血液, 28:1094-1101, 1987.
  - 15) 櫻川信男, 斉藤宗一他: Homogeneous EIA 法による FDP 測定の検討. 臨床検査機器試薬, 10:657-658, 1987.
  - 16) 神谷 忠, 有森英彦, 櫻川信男他: 血液凝固能に対する Cefotaxme の影響の検討. Jap. Antibiotics, 40:1275-1293, 1987.
  - 17) 櫻川信男, 金堂 要他: メトキシ・ポリエチレングリコール(PEG)により化学修飾した第VIII因子制剂の安定性. 最新医学, 42:2152-2155, 1987.
  - 18) 斉藤宗一, 高橋 薫, 櫻川信男: 腎疾患と凝血学的検査. 臨床病理, 35:988-991, 1987.
  - 19) Kisiel W., Kondo S. et al: Characterization of a protein C activator from Agkistrodon contortrix venom; J. Biol. Chem. 262:12607-12631, 1987.
  - 20) Kisiel W., Kondo S. et al: Isolation of a protein C activator from southern copperhead venom; Biochem. Biophys. Res. Comm. 30:917-922, 1987.
  - 21) Kondo S. and Kisiel W.: Regulation of a factor VIIa activity in plasma: Evidence that antithrombin III in the sole plasma protease inhibitor of human factor VIIa; Thromb. Res., 46:325-335, 1987.
  - 22) Yamagishi R., Sakuragawa N. et al: Binding of heparin or dermatan sulfate to thrombin in essential for the sulfate polysaccharide-accelerated inhibition of thrombin by heparin cofactor II; FEBS letters. 225:109-112, 1987.
  - 23) 櫻川信男, 金堂 要他: 艾葉のリン脂質上で起こる凝固反応に対する阻害作用. Ther. Res. 6:679-683, 1987.
- ◆ 総 説
- 1) 櫻川信男: 異常アンチトロンビン III. 臨床病理. 特集70:187-201, 1987.
  - 2) 櫻川信男: 血管壁と血液凝固系, 新潟医学会雑誌. 101:1-4, 1987.
  - 3) 櫻川信男, 小熊 豊: 血液凝固系, 肝胆膵. 14:741-748, 1987.
  - 4) 高橋 薫, 山岸良一, 櫻川信男: Antithrombin III 欠損症および異常症. 臨床病理. 35:505-510, 1987.
  - 5) 櫻川信男: トロンビン時間, Medical Practice. 4:572-573, 1987.
- ◆ 学会報告
- 1) 小川 宏, 新井弘之, 櫻川信男他: 高血圧性脳出血, 急性期予後不良例の神経病理学的検討 DIC 発見例を中心に. 第28回日本神経病理学総会. 1987, 6, 神戸.
  - 2) 斉藤宗一, 高橋 薫, 櫻川信男: 異常 antithrombin III 富山の培養血管内皮細胞との反応. 第49回日本血管学会総会. 1987, 4, 東京.
  - 3) 斉藤宗一, 高橋 薫: 腎疾患と凝血学的検査. 第26回日本臨床病理学会東海. 北陸支部総会, 1987, 3, 富山.
  - 4) 櫻川信男, 高橋 薫, 斉藤宗一: 免疫比濁法によるヘパリンコファクター II (HC II) の測法, 同上.
  - 5) 金堂 要, 丹羽正弘, 櫻川信男: ヘパリンコファクター II・トロンビン複合体に関する研究, 同上.
  - 6) 浜野修一郎, 高橋 薫, 櫻川信男: 人透析モデルにおける LMW-Heparin の効果, 同上.
  - 7) 高橋 薫, 斉藤宗一, 櫻川信男: LMW-Heparin の生体内代正常人ボランティアでの検討. 同上.
  - 8) 鈴木茂治, 高橋 薫, 櫻川信男: トロンビン製剤の性状について. 同上.
  - 9) 小川 宏, 新井弘之, 櫻川信男: 内頸動脈閉塞症予後不良例の凝血学的検討. 同上.
  - 10) 櫻川信男: 凝固機序と制御因子. 第84回日本内科学会総会, 1987, 4, 東京.
  - 11) Daimon Y.: Increase of Methicillin-resistant staphylococcus aureus. 第36回臨床衛生検査学会, 1987, 5, 鹿児島.
  - 12) Sakuragawa N.: Comparative studies on antithrombin III affinity of low molecular weight

heparin and unfractionated heparin. Ⅹth Inter-Cong. Thromb. Haemost., 1987, 7, Brussels.

13) Sakuragawa N.: Interaction between cultured endothelial cells and abnormal antithrombin III "Toyama". 同上.

14) Sakuragawa N.: Neutralizing effect of platelet factor 4 or histidine-rich glycoprotein low molecular weight heparin and unfractionated heparin. 同上.

15) 風間嘉品, 高橋 薫, 櫻川信男他: 各種疾患における PCI の変動, 第 5 回日本血液学会北陸地方会, 1987, 7, 金沢.

16) 小熊 豊, 櫻川信男他: 各種疾患におけるヘパリンコファクターⅡ測定の意義. 第29回日本臨床血液学会, 1987, 10, 千葉.

17) 小林 政, 小熊 豊, 櫻川信男: ITP を合併した VonWillebrand 病の 1 例. 同上.

18) 加賀英俊, 小熊 豊, 櫻川信男: 小柴胡湯のマウス免疫能におよぼす影響. 同上.

19) 小熊 豊, 清水公博: 第Ⅷ因子, 第Ⅸ因子濃縮製剤の安定化. 同上シンポジウム.

20) 齊藤宗一, 小林 政, 櫻川信男: 異常 antithrombin III 富山の培養血管内皮細胞との反応. 第10回日本血栓止血学会, 1987, 12, 前橋.

21) 近藤信一, 櫻川信男, Kisil W.: 血中リポ蛋白の活性化第Ⅷ因子-組織因子複合体に対する抑制の検討, 同上.

97-101, 1987.

3) 久世照五, 渋谷伸子, 広田弘毅, 伊藤祐輔, 中丸勝人, 佐藤根敏彦: 乳酸リンゲル液と酢酸リンゲル液投与後の血中と尿中の乳酸値, 酢酸値および体液変動の検討. 臨床水電解質 7 : 445-449, 1987.

4) 水橋久美, 成瀬隆倫, 森本 勝, 窪 秀之, 積永清志, 久世照五, 佐藤根敏彦: 下顎骨後退術の麻酔経験. 北陸麻酔学雑誌 21 : 33-36, 1987.

5) 八木裕一郎, 山崎光章, 佐藤根敏彦: Spondyloepiphyseal dysplasia congenita 患者の麻酔経験. 麻酔36 : 793-796, 1987.

6) 佐々木均, 朴沢二郎, 杉森 隆, 増田 達, 伊藤祐輔, 佐藤根敏彦: 聴性誘発反応に及ぼすフェンタニールの影響. 北陸麻酔学雑誌 21 : 23-26, 1987.

7) 窪 秀之, 田辺隆一, 久世照五, 中丸勝人, 高道昭一, 佐藤根敏彦: ゲールド・モニタリゲキットでの採血時の死腔量の検討. 北陸麻酔学雑誌 21 : 47-51, 1987.

8) 積永清志, 佐藤根敏彦, 渋谷伸子, 伊藤祐輔: 血管外科手術患者の risk factor と麻酔. 北陸麻酔学雑誌 21 : 53-55, 1987.

9) 中西拓郎, 積永清志, 桐山昌子, 渋谷伸子, 窪秀之, 山崎光章: 三叉神経減圧術後に交感神経が関与した Neuropathy を生じた 1 症例. 臨床麻酔 11 : 1373-1374, 1987.

10) 中丸勝人, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 吉田郁子: 臨時手術に伴う感染症(HB<sub>s</sub>抗原, 梅毒)検査の信頼性と対応について. 日本手術部医学会誌 8 : 101-103, 1987.

11) 松田公夫, 辻口喜代隆, 中丸勝人, 佐藤根敏彦: 臨時手術に伴う感染症未検症例の合理的対応と業務の省力化について. 日本手術部医学会誌 8 : 99-100, 1987.

12) 佐藤根敏彦, 高道昭一, 伊藤祐輔: 新しい手術部内専用電話システムの導入. 日本手術部医学会誌 8 : 109-111, 1987.

13) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔: 臨床用ポリグラフシステムの開発. 日本手術部医学会誌 8 : 216-217, 1987.

14) 辻口喜代隆, 平松妙子, 松田公夫, 中丸勝人, 佐藤根敏彦: 手術中に使用されるベースン内洗浄水の使用方法について. 日本手術部医学会誌 8 : 361-362, 1987.

15) 高道昭一, 奥野政一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔: 臨床用ポリグラフシステムの開発 第 2 報

## 手 術 部

部長(併任)	伊 藤 祐 輔
助 教 授	佐藤根敏彦
助 手	杉 森 隆之
助 手	窪 秀 之 志
助 手	積 永 清 志 人
文部技官	中 丸 勝 一
文部技官	高 道 昭 一
文部技官	奥 野 政 一

### ◆ 原 著

1) 中丸勝人, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 荒川 良, 上村 清: 夏期, 冬期における手術部内微小動物(ダニ)の実態調査と対策. 医科器械学 57 : 319-323, 1987.

2) 久世照五, 渋谷伸子, 広田弘毅, 伊藤祐輔, 中丸勝人: 術中輸液としての乳酸リンゲル液と 5% ブドウ糖加リンゲル液の検討. 臨床水電解質 7 :